

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 113-8602
住 所 東京都文京区千駄木1-1-5
氏 名 学校法人 日本医科大学
理事長 坂本 篤裕 印
(代理人) 武蔵小杉病院 院長 谷合 信彦
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策等の推進に関する条例第11条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	学校法人 日本医科大学			
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市中原区小杉町1-383			
該当する事業者 の要件	☒ 規則第4条第1号該当事業者			
	☐ 規則第4条第2号該当事業者			
	☐ 規則第4条第3号該当事業者			
	☐ 規則第4条第4号該当事業者			
	☐ 上記以外の事業者（任意提出事業者）			
主たる事業 の種類	大分類	P	医療、福祉	
	中分類	83	医療業	
主たる事業 の内容	一般病院			
事業者の規模	☒ 原油換算エネルギー使用量		2,315 k l	
	☐ 自動車の台数		台	
	☐ エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t -CO ₂	
連絡先	担当部署	担当部署名		
		所在地		
	電話番号			
	FAX番号			
	メールアドレス			
※受付欄		※特記事項	※事業者番号	

(第2面)

計画期間及び報告年度	2022年度～2024年度(報告年度2023年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
- 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
- 3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
- 4 ※印の欄は記入しないでください。
- 5 氏名(法人にあっては、その代表者)を記載し、押印することに代えて、本人(法人にあっては、その代表者)が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第1、2、4号該当者等）

（1）計画期間における温室効果ガスの排出の量等の状況

ア 温室効果ガスの排出の量

	基準年度 (2021 年度)	第1年度 (2022 年度)	第2年度 (2023 年度)	第3年度 (年度)	目標排出量
排出量 (t-CO2)	(実) 4,285 (調) 4,250	(実) 4,146 (調) 4,137	(実) 4,228 (調) 3,638	(実) (調)	(実) 4,242 (調) 4,207
削減率		(実) 3.2 % (調) 2.7 %	(実) 1.3 % (調) 14.4 %	(実) % (調) %	(実) 1.0 % (調) 1.0 %

イ 温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値（任意記載）

原 単 位 等 の 活 動 量				原単位等の単位	
	基準年度	第 1 年 度	第 2 年 度	第 3 年 度	目 標 と し た 値
	(2021 年度)	(2022 年度)	(2023 年度)	(年度)	
排出量原単位等の値					
活動量の値					-
排出量原単位等の削減率		%	%	%	%

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況等についての説明

第1年度	空調設備、LED照明設備について、不必要な箇所の停止・消灯に努めました。また、昨年度の実績を踏まえ、エリア単位に空調温度設定値、運転スケジュールの適正化に取り組み、日々の省エネ活動に努めました。効率のよい電気式の熱源機を優先して運転することで、ガス使用量の低減を図りました。
第2年度	前年同様、空調設備、LED照明設備について、不必要な箇所の停止・消灯に努めました。令和5年度の夏場は特に気温が暑く取り組みは困難を極めました。来院者・医療従事者の健康配慮を行いつつ、日々の省エネ活動に努めました。
第3年度	
計画期間における排出量増減等の評価 (第3年度の報告時に記載)	
上記評価を踏まえた改善対策など (第3年度の報告時に記載)	

（2）温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）（任意記載）

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況

(1) 措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない装置を実施した場合は、実施した内容の最後に（追加実施）と記載してください。)

計 画	(1) 省エネ推進小委員会を随時開催し、エネルギーの削減対策を検討し、遂行する。 (2) 主要設備の管理マニュアルを整備し、点検管理の徹底を図る。 (3) BEMS装置等を活用し、エネルギーデータの詳細把握を図る。 (4) 医療に直接かかわらない管理部門等のエリアの空調温度設定の緩和を徹底する。 (5) 夜間等で不使用となる箇所の空調停止を徹底する。 (6) 夜間等で不使用となる照明の消灯を徹底する。
第 1 年度	(1) 省エネ推進小委員会を随時開催し、エネルギーの削減対策を検討し、遂行しました。 (2) 主要設備の管理マニュアルを整備し、点検管理をしました。 (3) BEMS装置等を活用し、エネルギーデータの詳細を確認しました。 (4) 医療に直接かかわらない管理部門等のエリアの空調温度設定の緩和を行いました。 (5) 夜間等で不使用となる箇所の空調を停止しました。 (6) 夜間等で不使用となる照明を消灯しました。
第 2 年度	(1) 省エネ推進小委員会を随時開催し、エネルギーの削減対策を検討し、遂行しました。 (2) 主要設備の管理マニュアルを整備し、点検管理をしました。 (3) BEMS装置等を活用し、エネルギーデータの詳細を確認しました。 (4) 医療に直接かかわらない管理部門等のエリアの空調温度設定の緩和を行いました。 (5) 夜間等で不使用となる箇所の空調を停止しました。 (6) 夜間等で不使用となる照明を消灯しました。
第 3 年度	
計画期間における取組の評価 (第 3 年度の報告時に記載)	

(2) 再生可能エネルギー等の利用等

ア 前年度における再生可能エネルギー等の利用に係る検討状況

(追加検討を実施した場合は「○」、追加の検討を実施していない場合は「×」を記載してください。また、追加検討を実施した場合はその結果を記載してください。)

再生可能エネルギー等の種類	追加検討の有無	検討結果
太陽光	×	
風力	×	
バイオマス	×	
未利用エネルギー	×	
その他 ()		
その他 ()		

イ 再生可能エネルギー等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー等の価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度

(3) 前年度に実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入状況

(追加導入がある場合は「○」、追加導入がない場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	追加導入の有無	設備等の種類	追加導入の有無
電気自動車等への充電設備	×	エネルギー管理システム(FEMS、BEMS等)	×
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他 ()	
EV、PHV、FCV	×	その他 ()	

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に（追加実施）と記載してください。)

計 画	寄与する措置に係る事項は無し
第1年度	寄与する措置に係る事項は無し
第2年度	寄与する措置に係る事項は無し
第3年度	

5 その他、地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に（追加実施）と記載してください。)

計 画	(1) 武蔵小杉病院は第二種管理指定工場に指定されており、同法に基づく管理、報告を徹底する。中長期計画等は本部とも連携して作成する。 (2) 発生する廃棄物は、医療廃棄物、一般廃棄物（個別分類）等に厳格に分類し、可能なものはリサイクルし、廃棄物総量の抑制に努める。 (3) 武蔵小杉病院は駅至近であり交通の便も優れるため、夜勤者等を除いて、病院職員の公共交通機関での通勤を徹底する。
第1年度	(1) 本部と連携して中長期計画書を策定し、省エネ法に基づく管理、報告を適切に行った。 (2) 廃棄物の分別の徹底を実施し、リサイクル、廃棄物抑制に努めた。 (3) 病院職員の公共交通機関での通勤の啓蒙を図った。（啓蒙活動のみ）
第2年度	(1) 本部と連携して中長期計画書を策定し、省エネ法に基づく管理、報告を適切に行った。 (2) 廃棄物の分別の徹底を実施し、リサイクル、廃棄物抑制に努めた。 (3) 病院職員の公共交通機関での通勤の啓蒙を図った。（啓蒙活動のみ）
第3年度	

6 基準年度からのエネルギー起源CO₂の排出の量等の推移（1、2号該当者等）

（1）事業者単位

	基準年度	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度
エネルギー起源 CO ₂ 排出量	4,285 t-CO ₂	4,146 t-CO ₂	4,228 t-CO ₂	t-CO ₂
原油換算エネルギー 使用量	2,383 KL	2,269 KL	2,315 KL	KL
事業所の数	1	1	1	

（2）事業所等単位

ア 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量（t-CO ₂ ）			
		基準年度	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度
日本医科大学武蔵小杉病院	川崎市中原区小杉町1-383	4,285	4,146	4,228	

イ 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量（t-CO ₂ ）			
		基準年度	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度